

吉野川市山川公民館所蔵 「山崎・瀬詰村合併前に関する参考書」について

地方史班（徳島地方史研究会）

金原 祐樹*

要旨：山川公民館所蔵の旧役場公文書のうち「山崎・瀬詰村合併前に関する参考書」の内要検討を行い、別表のような件名目録を作成した。この中には、明治前期に作成され、現在ではほとんど残っていない村誌が山崎村・瀬詰村・川田山3か村分残っていたので、その内容を紹介する。

キーワード：旧村役場公文書、山崎村、瀬詰村、川田山、村誌

1. はじめに

吉野川市山川公民館には、町史作成のために集められたと考えられる(1)、歴史的な公文書が数冊残されている。その中に1889年(明治22)の町村制施行により合併し山瀬村となった、山崎村と瀬詰村の様々な文書を綴った「山崎・瀬詰村合併前に関する参考書」と題された公文書が残されている。本稿では、明治前期の当該地域を知る上での基礎資料となるこの簿冊の内容を紹介したい。

2. 史料の概要

麻植郡山瀬村役場の簿冊表紙の様式が印刷された表紙がつけられ、背表紙には明治40年の『行啓献上願』の表紙が転用されているところから、明治末年に山瀬村役場で後の行政の参考のため綴じられた簿冊であろうと考えられる。

簿冊の中身の詳細については目録を参考にしていただきたいが、1872年(明治5)から1889年(明治22)にかけての雑多な公文書が綴じられていることがわかる。山崎村分は、商業人名簿など商業や医業の関係資料が多く、瀬詰村分には川田山の文書も含

まれ、農事景況など農業に関わる資料が多い。共通する資料としては、村会規則など村の議会に関する資料、神社に関する資料、村の地誌を書き上げた村誌、地籍編成の請負証などがあげられる。地籍編成の請負証は、村の①地籍全図②字限り地図③地籍簿を作成し提出させる事を決めた契約書で、山崎村・瀬詰村両村の戸長細谷伊十郎と勝浦郡福原村(現勝浦町)の磯部只一、麻植郡学村後藤田光太郎の二名との間で結ばれている。明治期に作成された地積図作成過程の一端を知ることができる資料である。

3. 山崎村・瀬詰村の「村誌」について

1) 「村誌」の概要

「山崎・瀬詰村合併前に関する参考書」には、山崎村・瀬詰村・川田山3か村の村誌が案文・控の形で含まれている。村誌は、明治政府が明治9年1月1日を期して編纂を企画した皇国地誌(2)のため、各府県に提出させた府県誌の元になる郡誌・村誌がある。徳島県には県誌およびいくつかの郡誌が残されているが全てが残されているわけではない(3)。各地域に残されている村誌はそれらを埋める貴重な資料といえる。

* 徳島地方史研究会員

瀬詰村村誌の後書きに「前書の通今般地誌編輯取調指上候処、相違無御座候」とあり、阿波国第5大区4小区副戸長佐藤亀蔵が高知県権令小池国武に充てて提出した皇国地誌につながる村誌の控えであることがわかる。

ここでは、3村誌がもっとも基礎的な近代のこの地域を知る資料の一つであるため本文を紹介する。(記述が膨大であるため一部内容を省略した。また数字は全てアラビア数字に改めた。)

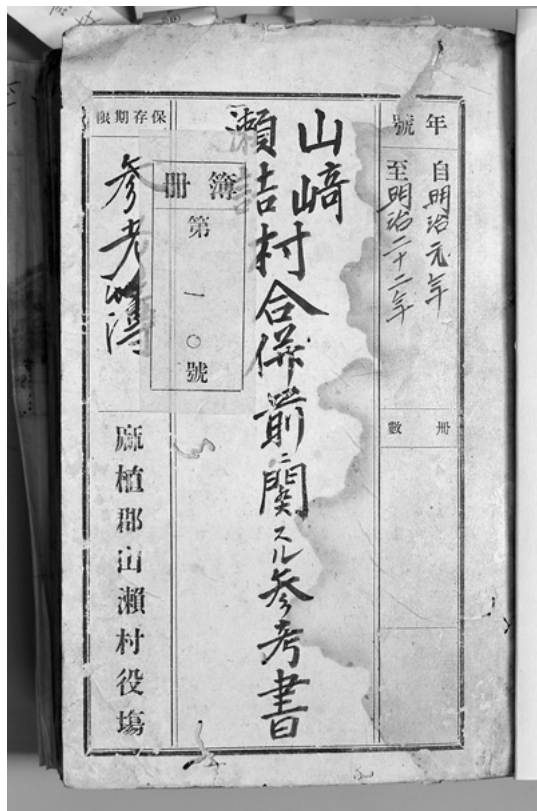


写真 山崎・瀬詰村合併前に関する参考書表紙

2) 麻植郡山崎村村誌 (不詳 明治10年代か)

疆域

東 学村 西 瀬詰村
南 種野山 北 阿波郡伊沢村

地勢

東は耕地、南は山、西は谷、北は3等川あり、
運輸便よし

山

日鷲山 (内容略)

川

川田川 (内容略)

渡し場

阿波郡勝命村渡し、南往還より字北中須至ル
(後略)

橋

前川橋 長15間、幅半間

溝堀

字流溝 長15間、幅5尺、学村へ注ぎて不用
水とす。

森林

東天神森より岩戸森へ5町、忌部森へ1町半、
八幡森へ6町、於騰山森へ8町

池

岩戸池、城池、西久保悪水溜 (内容略)

道路

2等往還道 (内容略)

堤

山崎川に沿う。竹少々。修繕費官民

瀧

天狗瀧 高さ24丈幅1間5尺 種野浦山より
落ち瀬詰川に入る。

民業

農職 男370人 女20人

繻織業 女50人 男なし

戸数

本籍 416戸 (士族6軒、平民412軒)

寄留 11戸

人口 2,058人 士族29人 (男14人 女9人)

平民2,029人 (男1,014人 女1,015人)

他出寄留17人 (男14人 女3人)

他より寄留17人 (男10人 女7人)

牛馬

牛4頭 (牡2頭 牝2頭)

馬158頭 (牡157頭 牝1頭)

国税金

220円

地租

米274石3斗3升、麦370石2斗4升3合

代金1,716円22銭

船

50石未満荷船 2艘 漁船 2艘

3) 瀬詰村村誌 (明治14年2月)

疆域

東 山崎村 西 川田村
南 種野山・川田村 北 吉野川水流 阿波
郡東林村・伊沢村

管轄沿革

麻植郡瀬詰村字湯立は忌部呉島

里程

徳島県庁より西の方8里10丁

地勢

川田川西より東へ貫通し、南に浦山あり、北に吉野川に望み水陸共に運輸便あり。

地味

土色淡黒軽砂を混す。質美ならず。甘藷に適す。水利不便にして早に苦しむなり。又水害最多なり。

税地

田12町2反5畝16歩 畑175町1反2畝18歩
宅地22町1反5畝3歩 山林50町

字

大塚、北島、湯立、青木、古城、春日、三島、八幡、若宮、諏訪、安楽寺、前川、北須賀

貢租

米214石6斗4升8合 (129円3銭7厘)
麦236石3斗6升5合 (1,754円4銭9厘)
宅地1,988円5銭2厘
国税金6円95銭 県税金100円

戸数

本籍431戸 (士族2戸, 平民429戸)
寄留2戸 社22 庵3 総計458戸

人数

男1,245人 女1,137人 総計2,382人
他出寄留男4, 女1 他より寄留男2 女1

牛馬

牡牛8頭 牡馬190頭 総計198頭

舟

日本型50石未満荷船12艘 日本型渡し船 2艘
計14艘

山

浦山 (内容略)

川

吉野川、川田川 (内容略)

渡し場

瀬詰渡 旧3等道路に属す。本村元標より北方12町にして吉野川中流にあり (後略)

橋

衣笠橋 旧2等道路に属す。本村元標より東方7町にして川田川の下流に架す。長18間中4尺木造

森林

大須賀林 民間に属す。本村乾の方にあり東西は8丁、南北6町、面積詳ならず。榎樹多し。

原野

北須賀民間に属す。本村良の方にあり。(後略)

池

菰ヶ池 本村南ノ方字青木にあり

道路

徳島往還旧2等道路、村道旧3等道路 (内容略)

堤

西崎堤 古川に□ひ本村西方にあり、長6町、敷数8間、高4間、馬踏1間1尺、根固メ石修繕民費

社

八幡神社 (村社)、若宮神社、日吉神社、龍神社、猿田彦神社、野神社、猿田彦神社、城主神社、槇淵神社、春日神社、諏訪神社、福神社、若宮神社、三島神社、流神社、総社神社、山神社、若宮神社、水除神社 (内容略)

庵

大師庵、大師庵、地藏庵 (内容略)

村役所

本村中央字若宮にあり。

産物

葉藍・裸麦・大豆・蕃薯、里芋

民業

全村農を以て業となす。

4) 川田山村誌 (明治11年3月25日)

疆域

東 麻植郡桁山村・種野山 西 美馬郡半平山
南 麻植郡桁山村 北 麻植郡川田村 (内容略)

管轄沿革

悉皆蜂須賀氏の臣稲田邦植の采地
地勢 東南西に山を負い、村中に川田谷を通じ水陸運輸便をなす。薪炭乏しからず
地味 土色淡黒にして少しく赤色を帯るあり。質甘藷に適し水利便ならず。早にて苦しむ。
税地 明治9年1月1日調べ
田6町5反6畝6歩 畑244町5反6畝4歩
総計250町1反2畝歩
字地 向坂、桑内、皆瀬、紙漉、榎谷、土張、楠根地、奥ノ井
貢租 明治9年1月1日調べ
米85石5斗3升・麦25石3斗
国税4円 県税3円80銭
戸数 本籍187戸（士族10戸、平民177戸）
社7 寺8 計202戸
人数 男591口（士族28口、平民577口）
女494口（士族31口、平民463口）
総計1,085口
他所寄留 男4 女1
牛馬 牛128頭（牡90頭、牝32頭）馬18頭
山 高越山、笛附石
川 川田谷、土張谷、小谷
用水溝 本村南方土張谷より発し、土張谷を注ぎ川田村に入る。長さ18町、巾1間

銚子淵 本村東北ノ方字皆瀬にあり。川田村へ水線あり。
鉾山 銅鉾本村西北ノ間字北谷にあり。高越山の東麓属す。明治7年発見。
社 御崎神社・王子神社・山神社・山神社・白人神社・大野神社・御崎神社
物産 葉藍・米・麦・甘藷・芋・粟・大豆・稗・蕎麦・楮皮・水油・薪・氷豆腐
民業 全村農を以て業とす

4. おわりに

残された村誌の内容は上記の通りであるが、明治初年の村の様子を知ることができる。例えば、牛馬の保有数を見ると、平地部の瀬詰・山崎の両村では圧倒的に馬を保有しているが、川田山では牛を保有しており、山間部での農耕や運搬に牛が欠かせなかったことがわかる。また、瀬詰村の民業は全戸農業としていながら、商業用と思われる荷船を12艘持っており、実際には商業・流通業も盛んな土地であったといえよう。

註)

- (1) 山川町史編集委員会編（1987）『改訂山川町史』353頁の年表中に、この資料を参考にしたことが書かれている。
- (2) 皇国地誌は、1872年（明治5）に明治政府により始められた地誌編纂事業であるが、編纂作業は打ち切られ、資料も焼失したとされる。現在は、残存する原稿や控えが各地で活字化されている。
- (3) 徳島県立図書館所蔵呉郷文庫の中に、阿波国郡誌、名東郡村誌、那賀郡村誌、海部郡村誌、三好郡村誌がある。那賀郡村誌の一部は阿南市史編さん委員会編（1982）『阿波国那賀郡村誌（阿南市の部）』として刊行されている。

Yoshinogawa City public hall possession "Yamasaki-mura, Sezume-mura, reference book to relate to before a merger".

KINBARA Hiroki,

Proceedings of Awagakkai, No. 58 (2012), pp. 197-202.

表 山崎・瀬詰村合併前に関する参考書件名目録

旧山崎村

No.	表題	作成	宛	年代
1	氏子調子規則	伊勢五平		明治5申年卯月吉日
2	諸職商業人名面簿	一等副戸長伊勢五平		明治9年7月
3	麻植郡山崎村通路御調査ニ付詳細書	麻植郡山崎村	高知県阿波麻植郡長岩本晴之	明治12年7月7日
4	諸営業取締組合名簿	阿波国麻植郡山崎村 戸長伊勢五	徳島県阿波麻植郡長岩本晴之	明治13年6月22日
5	神社総代被選挙人名簿	麻植郡山崎村 戸長伊勢五平	徳島県令酒井明	明治14年11月25日
6	神社総代被選挙人名簿	麻植郡山崎村 戸長伊勢五平	徳島県令酒井明	明治14年11月25日
7	伍長人名簿	麻植郡山崎村役場		明治14年12月改正
8	村会議事細則			明治15年12月改正
9	麻植郡山崎村会規則			明治16年6月
10	医術開業御鑑札御願	麻植郡山崎村伊月錦司	徳島県令酒井明	明治16年10月3日
11	医術開業御鑑札御願	麻植郡山崎村伊月錦司	長崎県令石田英吉	明治16年7月11日
12	医術開業免許御願	麻植郡山崎村伊月錦司	長崎県令内海忠勝	明治15年5月1日
13	履歴明細書	麻植郡山崎村伊月錦司		明治15年5月10日
14	県社御指据願之義ニ付追願	麻植郡山崎村氏子総代	徳島県令酒井明	明治16年11月3日
15	菓種商			(明治16年)
16	共有財産処分ノ義ニ付上申(共有財産一覽有)	麻植郡山崎村外1村戸長細谷伊十郎	徳島県知事酒井明	明治22年9月25日
17	麻植郡山崎村地籍編製請負証	麻植郡山崎村寄留請負人磯部只一外	麻植郡山崎瀬詰村戸長細谷伊十郎	明治20年6月6日
18	麻植郡山崎村(地誌)			

旧瀬詰村

No.	表題	作成	宛	年代
1	道路御調査ニ付御請書	麻植郡瀬詰村戸長代理御用係長尾勝三郎	地理係出張并後郡書記殿外1名	
2	瀬詰・川田両村境界論地示談之義ニ付上申	麻植郡瀬詰村地租改正総代石川久平	高知県阿波麻植郡長岩本晴之	明治12年9月30日
3	議事細則			
4	村会規則			
5	明治13年3月麻植郡瀬詰村外4村農事実況	麻植郡瀬詰村戸長安部弥太郎	徳島県阿波麻植郡長岩本晴之	明治13年4月21日
6	明治13年4月麻植郡瀬詰村外4村農事実況	麻植郡瀬詰村戸長安部弥太郎	徳島県阿波麻植郡長岩本晴之	明治13年5月5日
7	統計表	瀬詰村戸長		明治13年3月
8	村会議員名面帳	瀬詰村戸長		
9	道路掃除・修繕額	井上戸長	川村戸長外1名	明治13年11月
10	村有地取調之義ニ付申稟	瀬詰村戸長安部弥太郎	高知裁判所長代理徳島支庁判事島居直樹	(明治13)
11	明治13年麻植郡瀬詰村外4ヶ村農事実況	麻植郡瀬詰村戸長安部弥太郎	徳島県阿波麻植郡長岩本晴之	明治13年6月
12	村会議事ニ付御届	麻植郡瀬詰村戸長安部弥太郎	徳島県阿波麻植郡長岩本晴之	明治13年6月
13	明治13年麻植郡瀬詰村農事景況	麻植郡瀬詰村戸長安部弥太郎	徳島県阿波麻植郡長岩本晴之	明治13年6月5日
14	明治13年麦作概算	麻植郡瀬詰村戸長安部弥太郎	徳島県阿波麻植郡長岩本晴之	明治13年6月19日
15	西崎石橋梁南北疊石目論見	麻植郡瀬詰村土木起工総代上田貞司郎	徳島県阿波麻植郡長岩本晴之	明治13年6月19日
16	明治13年麦作概算	麻植郡瀬詰村戸長安部弥太郎	徳島県阿波麻植郡長岩本晴之	明治13年6月26日
17	土佐本山郷エ通スル船路開鑿の義ニ付上申	麻植郡瀬詰村戸長安部弥太郎	徳島県阿波麻植郡長岩本晴之	明治13年6月31日
18	明治13年麻植郡瀬詰村農事景況	麻植郡瀬詰村戸長安部弥太郎	郡長宛	明治13年7月17日
19	徳島県麻植郡瀬詰村薪炭産出高調査表			(明治13年7月)
20	徳島県麻植郡瀬詰村薪炭輸入高調査表			(明治13年7月)
21	徳島県麻植郡瀬詰村薪炭需要高調査表			(明治13年7月)
22	現在戸数取調上申	麻植郡瀬詰村戸長安部弥太郎	徳島県阿波麻植郡長岩本晴之	明治13年7月23日
23	橋梁掛添並ニ修繕御願	麻植郡瀬詰村土木起工総代上田貞司郎	徳島県阿波麻植郡長岩本晴之	明治13年7月22日
24	二等道路修繕之義ニ付上申	麻植郡瀬詰村戸長安部弥太郎	徳島県阿波麻植郡長岩本晴之	明治13年7月24日
25	客社より県庁江里程取調証	麻植郡瀬詰村戸長安部弥太郎代理上田貞司郎	徳島県阿波麻植郡長岩本晴之	明治13年8月10日
26	常食物調査表	麻植郡瀬詰村戸長安部弥太郎	徳島県阿波麻植郡長岩本晴之	明治13年9月10日
27	職工雇夫賃銀調査表	麻植郡瀬詰村戸長安部弥太郎	徳島県阿波麻植郡長岩本晴之	明治13年9月10日
28	小学試験教員選定之義ニ付上申	麻植郡各村学務委員総代麻植郡瀬詰村戸長件学務委員安部弥太郎	徳島県阿波麻植郡長岩本晴之	明治13年9月13日
29	明治13年9月麻植郡瀬詰村農事景況	麻植郡瀬詰村戸長安部弥太郎	徳島県阿波麻植郡長岩本晴之	明治13年9月15日
30	風雨並ニ水災ニ付諸植物村外景況御届	安部弥太郎	徳島県阿波麻植郡長岩本晴之	(明治13年)
31	種痘表	麻植郡瀬詰村種痘医富永有		

32	小学分覺設置之義上申	麻植郡瀬詰村戸長安部弥太郎	徳島県阿波麻植郡長岩本晴之	明治13年9月29日
33	小学補助教員之雇入之義ニ付上申	麻植郡瀬詰村戸長兼学務委員安部弥太郎	徳島県阿波麻植郡長岩本晴之	明治13年9月30日
34	下作農夫及人力車夫平均ノ所得金取調上申			明治13年10月6日
35	選挙御届	戸長	郡長宛	明治13年10月25日
36	酒類鑑札目録証	麻植郡瀬詰村戸長安部弥太郎	徳島県阿波麻植郡長岩本晴之	明治13年11月1日
37	郡役所保有書類及諸品取調証			
38	官有地地目取調上申	麻植郡瀬詰村戸長安部弥太郎外 1	徳島県令北垣国道	明治13年12月5日
39	麻植郡瀬詰村誌（地誌）	麻植郡瀬詰村戸長安部弥太郎		明治14年2月
40	名東兼阿波国第 5 大区 4 小区戸籍総計			
41	名東兼阿波国第 5 大区 5 小区職分総計	第 5 大区 4 小区戸長安部弥太郎外 1 名	第 5 大区区长筒井萬補	明治9年2月
42	高知県下阿波国第 5 大区 4 小区瀬詰村戸籍総計	一等副戸長佐藤亀蔵		明治11年1月1日
43	名東兼阿波国第 5 大区 4 小区職分総計	一等副戸長佐藤亀蔵		明治11年1月1日
44	名東兼阿波国第 5 大区 4 小区他管轄より寄留総計			
45	死亡総計			
46	高知県下阿波国第 5 大区 4 小区瀬詰村戸籍総計	一等副戸長佐藤亀蔵		明治11年1月1日
47	高知県下阿波国第 5 大区 4 小区瀬詰村職分表総計			明治11年1月1日
48	高知県下阿波国第 5 大区 4 小区他管轄より寄留総計	一等副戸長佐藤亀蔵		明治11年1月1日
49	高知県下阿波国第 5 大区 4 小区教導職	一等副戸長佐藤亀蔵		明治11年1月1日
50	死亡総計麻植郡瀬津村	一等副戸長佐藤亀蔵		明治11年1月1日
51	村誌麻植郡川田山			
52	管轄沿革			明治9年1月1日
53	村会立木伐採之義ニ付上申	麻植郡瀬詰村戸長安部弥太郎	徳島県令酒井明	明治14年7月25日
54	氏子総代（八幡社神事家台順番等）			明治15年～18年
55	溜池新築仕度ニ付実地御検査願	麻植郡瀬詰村戸長上田貞司郎	徳島県阿波麻植郡蜂須賀昭邦	明治15年4月26日
56	瀬詰村会議員出頭簿			明治15年12月～明治16年1月
57	衛生事務取扱之義ニ付伺	麻植郡瀬詰村戸長上田貞司郎	徳島県阿波麻植郡蜂須賀昭邦	明治16年6月2日
58	水利土功会規則御裁定願	麻植郡瀬詰村戸長上田貞司郎	徳島県阿波麻植郡蜂須賀昭邦	明治16年8月25日
59	船税免除御烙印願	吉野川渡守石川米蔵外 1 名	徳島県令酒井明	明治16年12月24日
60	船税免除御烙印願		徳島県令酒井明	明治16年
61	船税免除御烙印願	麻植郡瀬詰村戸長上田貞司郎	徳島県令酒井明	明治18年4月24日
62	船税免除御烙印願	麻植郡瀬詰村戸長上田貞司郎	徳島県令酒井明	明治18年4月25日
63	瀬詰村地籍編成請負定約証	麻植郡瀬詰村戸長細谷伊十郎	勝浦郡福原村磯部只一外 1 名	明治19年11月25日
64	瀬詰村地籍編成請負定約証	麻植郡学村後藤田光太郎外 1 名	麻植郡山崎村瀬詰村戸長細谷伊十郎	明治19年11月25日
65	御請書（渡船業請負の件）	麻植郡瀬詰村大元茂平外 1 名	麻植郡山崎村瀬詰村戸長細谷伊十郎	明治21年4月18日

※この表は、吉野川市山川公民館所蔵『山崎・瀬詰合併前に関する参考書』の件名目録を作成したものである。旧字体は、常用漢字に直した。